

安全・安心な環境の推進について



質問者
南雲 まさ子 議員

(1) 松田町第5次総合計画アクションプログラムに、自動体外式除細動器(AED)の配置場所を平成26年度21カ所を、平成30年度には30カ所にする目標が掲げられていますが、その目標に対し今後どのような方針をもって設置していかれるのか、お伺いします。

(2) 近年、児童・生徒が被害者となる事件や事故が多発しています。町内の児童・生徒が安心して暮る安全対策の充実を図る必要があると考えられます。そこで、次の点をお伺いします。

① 通学途上における交通安全や防犯上の問題についての対策は。

② 学校の安全面策として、セーフティ・プロモーション・スクール(SPS)認証制度に対する本町の考えは。

A

**更なる安全
安心対策の
推進を**

回答
(町長・教育長)

(1) 今後の設置予定場所は、町内のコンビニエンスストア4店舗に設置依頼をすると共に9カ所を候補地として整備を進める。

(2) ① 交通安全対策は、

セーフティ・プロモーション・スクール(SPS)とは、日本語では「防災・減災教育モデル校」と訳されている。学校コーディネーターを軸として、学校・警察・消防・行政・自治会・家庭が連携して、学校安全の取り組みを行っている学校をいう。

町交通指導隊に協力してもらい街頭立哨や交通安全見守り事業を実施するなど、交通事故から子ども達を守るよう努める。



質問者
飯田 一 議員

消防力の強化と安心・安全の取り組みは

昨年12月、糸魚川で大きな火災が発生し、またテレビなどでは毎日のように火災のニュースが流れています。私の近辺でも昨年、一昨年と連続で

火災が発生しています。町の安心・安全は、警察・消防に守ってもらわなければなりません。そこでお尋ねします。

(1) 近年の松田町での火

防犯対策は、町民の皆さんに協力をいただくと共に、地域・松田警察署・学校・町が連携し、子ども達を犯罪から守る活動を継続していく。

(2) セーフティ・プロモーション・スクールの生活安全、災害安全、交通安全の3つからなる安全教育を実施し、校長園長会などでSPSの取り組みの先進事例を紹介するなど、安心安全な教育環境づくりを一層推進していく。

A

**消防団の
あり方について
見直す**

回答 (町長)

(1) 本町の建物火災発生件数は、平成26年0件、27年1件、28年3件となっている。

(2) 平成29年1月1日現在、定員140名に対して、実員131名となっている。装備の充実については、27年に切り傷を

発生件数の状況はいかがでしょうか。

(2) 松田町消防団の団員の定員は140名となっていますが、充足していますか。また、装備や備品等についてはいかがでしょうか。

(3) 消火作業は常に危険と隣り合わせです。危険に見合った報酬、手当等の待遇は十分でしょうか。



消防団による出初式

防止する専用の手袋を全員に配備し、28年度には拡声器を全分団に整備している。また、防火衣・防塵メガネ・防塵マスクは、29年度も購入を予定している。

(3) 消防団の報酬は、一般団員で年額4万9800円、その他出動手当・危険手当が加算される。待遇については、町独自の消防団応援店登録制度を進めると共に、消防団員の定員を含め消防団のあり方について、29年度から話し合いを行い、報酬・出動手当等についても併せて再検証を進めていく。